

軍国日本を創った明治維新

作家 原田伊織



- *虚偽に満ちた日本近代史
- *天皇を神格化した勤皇思想
- *明治維新とつながる昭和の軍国主義
- *分水嶺は5・15事件
- *テロリストを称賛したメディア
- *歴史の検証が必要
- *明治以来の対外恐怖症
- *長州閥から長州型へ
- *テロの扇動者吉田松陰
- *一元主義を生んだ明治維新

柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日は原田伊織さんにおいでいただきました。2年ほど前に初めてお呼びいただきましたが、当時、明治維新に関する記念式典がいろいろありました。われわれの幕末から近代日本の歴史というものがいかに偏ったものであるかに改めて気づかされました。ある意味では長州の流れをくむ政権がまだ続いているわけですが、それともかく、われわれがいろいろ得てきた知識というものをどこかできちんと整理して新しく見直すことは非常に重要です。いつの時代も権力の場にいる人たちは自分たちを美化するわけですが、国民としてはそれをきちんと取捨選択していかなければいけない。今日もそういった観点から新しいお話をさせていただけると思います。

それでは原田さんよろしくお願いいたします。（拍手）

虚偽に満ちた日本近代史

原田 原田でございます。よろしく願います。たします。

今ご紹介いただきましたように2年ぐらい前初めてお呼びいただきました。ちょうど大河ドラマで西郷隆盛をやる直前だったかと思えます。明治維新について何冊か上梓させていただいている間に、内閣府の職員からはいちばん人気のない物書きということになっております（笑）。それからNHKさんとテレビ朝日さんでは、原田はNGだとかいう話があります。どなたが相手でも常に申し上げていることですが、歴史と